



東京ワークライフバランス
認定企業

認定部門

育児・介護休業制度充実部門

株式会社クララオンライン



働き方を見直すいきいき職場を応援!

ワークライフバランスフェスタ東京2012

WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2012

R100

古紙/再生紙配合率100%再生紙を使用

働き方を見直すいきいき職場を応援!

ワークライフバランスフェスタ東京2012



WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2012



株式会社クララオンライン

会社概要

会社名 株式会社クララオンライン

代表者名 家本 賢太郎

創立(創業) 1997年

所在地 港区芝大門2-5-5 住友芝大門ビル10階

TEL / FAX 03-6704-0777 / 03-5408-5740

従業員数 67名

URL <http://www.clara.co.jp/>



事業内容

インターネットサービス基盤事業

- ・合計7.1Gbpsの対外接続をすべて自社で運用し、国内外6都市8拠点のデータセンター(東京×2、名古屋、シンガポール、台北、北京、上海)でサーバを運用しています。主に企業・法人向けのサーバ管理・運用事業を専門とし、日本国内で約4,000、東南アジアで約3,000の顧客を有しています。
- ・サーバをお客様専用提供する「専用サーバサービス」や、サーバと共にFirewall、IDS/IPS、サーバロードバランサなどと組み合わせた「複合型ホスティング」(Complex Hosting)、サーバを仮想的に分割して複数のお客様に提供する「Flex Miniサービス」等を主たる事業としています。特に、LinuxやWindowsベースの仮想型サーバサービスはクララオンラインが日本で最初に提供を開始するなど、新たな技術への取り組みも前向きに行っています。

目的・理念

長く働けるITベンチャー企業を目指す!

ITベンチャー企業は、平均年齢が若く、まさにこれから出産、子育てを迎える世代が沢山います。そのため、育児・介護休業制度の充実に取り組んでいます。また当社では、私生活が充実してこそ、仕事も充実するという考え方をしており、積極的に育児休業や介護休業を取得できるよう、全社を挙げて取り組んでおります。代表の家本、取締役の古川など、トップマネジメントが先に育児休業を取得することにより、スタッフが取得しやすい環境も作っています。



認定部門

育児・介護休業制度充実部門

♡ 取組内容

入社時研修における育児・介護休業等制度の教育

・入社時研修の際に、育児・介護休業等の取組を規定や実績を用いて説明しています。

従業員研修において社長がワークライフバランスについての研修を実施

育児・介護休業取得回数の制限なし

短時間勤務制度の導入 (子の年齢制限なし)

在宅勤務

・自宅でも仕事ができるようにPCの貸し出しなどの制度を整備し、休業中は、社内メールやお客様とのやり取りに自宅からでもアクセス出来るような環境を提供しています。

円滑な職場復帰に向けた情報共有

・育児休業取得者が、職場復帰後、社内の状況などが分からず、孤立しないよう、ITを活用して情報共有を図る取組を実施しています。また、社内ポータルサイトを活用した情報共有も行っています。



♡ 実現のポイント

トップダウンで社内へ一気に浸透させる!

代表の家本が、育児介護休業の重要性を積極的に全社に向けて説明する場を設けています。役員が先に育児休業を取得しているため、スタッフも取りやすい社風があります。



全体朝礼での取組内容の共有化

・育児休業を取得する際は、全体朝礼で休業の取得と復帰時期について全社で共有しています。



育休取得者からの復帰後ヒアリングで改善点を発見

・育児休業取得者の復帰後、人事担当者がヒアリングを実施し、具体的に支援制度がどうだったか、改善したいポイントはあるかなどを細かく確認しています。

安心できる引継と復帰体制

不安を抱えながら育児休業に入ることがないように、引継内容や復帰後の事などについては、人事担当や上長から丁寧に説明をします。また、上長が、状況をメールや電話で適宜伝え、フォローする体制をとっています。



子育て世代への勤務の柔軟な対応

育児休業制度だけでなく、妊娠中の社員や子育て世代の社員の時短勤務などをフレキシブルに導入しています。



♡ 従業員の意見

職場への効果

・社内で子どもの話をする機会が増え、結果的にコミュニケーションが活性化されました。

会社の姿勢や方針について評価できる点

・本人が休業を取得したいと申し出れば、利用できるように、期間や配置などを会社が考え対応してくれます。

生活や働き方への影響

・業務時間内に仕事を終わらせることが出来るように、効率を考えて仕事に取り組むようになりました。



職場での周知方法

・入社時の制度説明の他、実際に取得する人が出た場合には、全体朝礼の場で、報告が行われ、拍手で送り出してもらえるような周知を行っています。